

事業区分	文化芸術事業		育成・創造事業				
事業名	ARTS FOR EVERYONE 楽演祭 みらいアトリウム劇場						
目的・内容	施設の特徴を活かしながら、誰もが芸術文化に親しむ環境を生み出していくために実施。芸術文化に親しみが無い方々に、多様なジャンルのアートを届け、新しい鑑賞者開発を行う。また、アートマネージャー主体の運営を目指すため、年間を通じてアートマネージャー育成を行う。						
開催日時	①平成23年4月30日(土) 13:00~14:00 ホルン、ピアノによるコンサート ②平成23年9月24日(土) 13:00~14:00 鼓童メンバーによる和太鼓の演奏 ③平成24年1月15日(日) 13:30~14:30 ひとり芝居(演劇、朗読)						
会場	倉吉未来中心アトリウム(①③)、小ホール(②)						
参加料	無料						
実施状況	参加者数	387名	目標人数	510名	集客率	76%	
事業費状況	予算額	収入	0円	支出	1,083,000円	収支比率	—
	決算額	収入	0円	支出	518,999円	収支比率	—
参加者アンケート(主なもの)	<ul style="list-style-type: none"> ・ホルンを身近に感じることができました。音楽、楽器について感心をもつ、きっかけづくりによる、よい内容だと思います。ありがとうございました。 ・新聞を見て来てみました。太鼓の音にとっても感動しました。いつのまにか涙がでてきて、とてもいい気持ちになりました。30日の公演も来ようと思っています。 ・高校生の演劇を初めてみましたがすごくレベルが高くびっくりしました。 ・ひとつのテーマでいろいろな作品が出来ると思いました。自分が作ったお話を演じるなんてすばらしいです。 ・ドラクエコンサートのプレイベントという事を知っていたので、ドラクエの曲もいくらかあると思っていて、その点は残念だった。 ・アトリウムで360度の舞台は話が聞きづらかった。 						
1次評価(内部)	<p>[成果]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小さな子供のいる家族やホールで公演を鑑賞する機会の少ない方、多様なジャンル(公演)を楽しみたい方に、アーティスト自身によるトークを交えた進行で楽器やアーティストを身近に感じてもらえる機会を提供することができた。 ・今年度はアートマネージャー2名と協働したが、両者とも積極的に企画・広報・当日運営を行うなどし、アートマネジメント人材の育成に繋げることができた。 <p>[課題等]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・来場者が目標に達成しなかったことは、次年度への課題である。 ・今年度のアートマネージャーとの継続的な関わりと、継続的な学習、体験の場が必要である。 ・演劇を実施する場合は、上演内容によって適切な会場を選定する必要がある。 						
2次評価(財団評議員)	<p>[成果]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・開催ジャンルが、音楽、和太鼓、演劇+ダンス、とバリエーションに富んでおり、目的に合致している。また、とすれば音楽系に偏りがちになるが、幅広いジャンルの取り組みになったことは大変良いと思う。 ・身近な事業として、定着しつつある。加えて、課題であったアートマネージャーの起用、育成に踏み出したことは評価したい。 <p>[課題等]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アートマネージャーについては、「まだスタートをきったばかり」というレベルであり、引き続き取り組みを強化してほしい。 ・当事業を目的とせずに来館した方に対し、「みらいアトリウム劇場」を開催していることを認知してもらえるよう、「看板」を製作してはどうか。 ・本事業は、総じて広報が行き届いていないと感じるため、事業の枠にしばられない柔軟な広報をどんどん展開してみてはと思う。 						
今後の対応、取組状況	<ul style="list-style-type: none"> ・実施日の2カ月前には広報できるようにするとともに、他事業と合同の広報、ソーシャルメディアなども活用して、広く周知し、来場者の目標達成に努める。また、看板を製作し、本事業の認知度を高めていく。 ・次年度においても新規のアートマネージャーを起用し、引き続きアートマネージャーの育成を図っていく。また、アートマネージャー経験者については、県内で開催されるアートマネジメント講座の情報を提供するなど、継続した関係を構築していく。 ・実施会場については、開催時期や内容、出演者の意向などを踏まえて選定していく。 						